

小学  
3年

2021年6月実施

# 解答と解説

はじまりの2科目。

「知識」と「思考」を、まず試す。  
ここから無限の可能性がひろがります。

基礎力テスト  
(国・算)  
+  
思考力テスト  
(総合型・適性検査型)

知れば、選べる



# 小学3年

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか、…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

## 思考スキル

### ○情報を獲得する

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

### ○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作を正しく行う

### ○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

### ○順序立てて筋道をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

### ○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分（計算式の数、素数、約数、平方数、…など）に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性に注目する
- ・規則や周期に注目する

### ○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

### ○視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

### ○特定の状況を仮定する

- ・極端な場合を想定して考える（もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など）
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のものだけを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲や大きさの見当をつける

## 思考スキル

### ○知識

- ・情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・想起した知識を正しく運用する

### ○理由

- ・筆者の意見や判断の根拠を示す
- ・ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・現象の背後にあることを明らかにする

### ○置き換え

- ・問いを別の形で言い表す
- ・問題の状況を図表などに表す
- ・未知のものを自分が知っている形で表す
- ・具体的な数と比を自由に行き来する

### ○比較

- ・多角的な視点で複数のことがらを比べる
- ・複数のことがらの共通点を見つけ出す
- ・複数のことがらの差異を明確にする

### ○分類

- ・個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・共通点、相違点に着目して、情報を切り分けていく

### ○具体・抽象

- ・文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ある特徴を持つものを示す
- ・個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

### ○関係づけ

- ・情報どうしを結び付ける
- ・要素間の意味を捉え、情報を補う
- ・部分と全体のそれぞれが互いに与えあう影響に目を向ける
- ・ある目的のための手段となることを見つけ出す

### ○推論

- ・情報をもとに、論理的な帰結を導き出す
- ・情報をもとに、未来・過去のことを予測する
- ・情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

# 小学3年 基礎力テスト (国・算) —— 解答と解説

## 算数 (国語と算数あわせて40分)

**1**

(1)	427	(2)	57	(3)	33
	21		22		23

(4)	63	(5)	4	(6)	ア	2	m	イ	15	cm
	24		25						(完答)	26

**2**

(1)	22	人	(2)	5	dL	(3)	2	人
	27			28			29	

(4)	①	20	こ	②	12	こ	(5)	①	イ	②	64	cm
		30			31				32		33	

**3**

(1)	15	分間	(2)	7	時	30	分
	34					(完答)	35

**4**

(1)	500	円	(2)	12	まい	(3)	4	まい
	36			37			38	

# 国語

(国語と算数あわせて四十分)

問五
ウ
49
問六
イ
50
問七
ア
51
問八
ウ
52

問四
(1)
ア
47
(2)
はじめ
ハ
チ
ベ
エ
く
おわり
も
し
れ
ない
い
(完答) 48

問二
A
イ
44
B
ア
45
問三
舟
坂
山
の
頂
上
46

問一
㊶
たの
39
㊷
頭
40
㊸
くも
41
㊹
角
42
㊺
用心
43

- (配点)  
 算数①、②(1)~(3) 各2点×9=18点  
 ②(4)、(5) 各3点×4=12点  
 ③、④ 各4点×5=20点  
 国語問一 各2点×5=10点  
 問二 各3点×2=6点  
 問四(1) 4点  
 上記以外 各5点×6=30点  
 計100点

【解説】

② いろいろな文章題

(1) **A1** 再現する

24人いたところから6人帰って、 $24 - 6 = 18$  (人)

そこに4人やって来たので、 $18 + 4 = 22$  (人)

(2) **A1** 再現する

単位をdLにそろえます。1L=10dLなので、 $10 - 5 = 5$  (dL)

(3) **A2** 情報を獲得する 置き換え

○1つは1人なので、うさぎが好きな人をのぞいた人数は、グラフより、

$4 + 5 + 3 + 1 = 13$  (人)

うさぎが好きな人は、 $15 - 13 = 2$  (人)

(4) ① **A1** 再現する

4こずつ5れつなので、 $4 \times 5 = 20$  (こ)

② **A2** 再現する 順序立てて筋道をとらえる

食べたおまんじゅうは、2こずつ4れつなので、 $2 \times 4 = 8$  (こ)

のこったおまんじゅうは、 $20 - 8 = 12$  (こ)

(5) ① **A2** 特定の状況を仮定する 置き換え

正方形は5まいなので、できる箱はイになります。

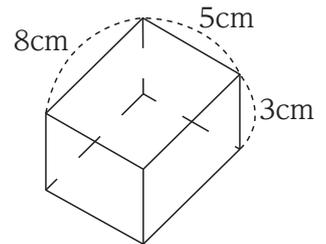
② **B1** 特徴的な部分に注目する 特定の状況を仮定する

長方形を箱の形にすると、右の図のようになります。

3cm、5cm、8cmの<sup>辺</sup>は、それぞれ4本ずつなので、

$3 \times 4 = 12$  (cm)、 $5 \times 4 = 20$ cm、 $8 \times 4 = 32$  (cm)

すべてたすと、 $12 + 20 + 32 = 64$  (cm)



③ 時こくと時間の問題

(1) **A1** 再現する

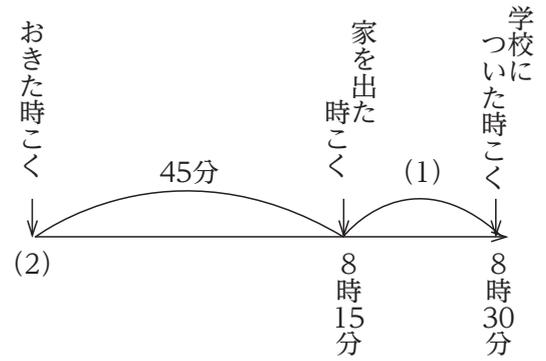
家を出た時こくは、8時15分。 学校についた時こくは、8時30分。

家を出てから学校につくまでにかかる時間は、 $8時30分 - 8時15分 = 15$  (分)

(2) **A2** 順序立てて筋道をとらえる

全体の時間のながれは、右の図のようになっています。

おきた時こくは、家を出た時こくより45分前なので、  
 $8時15分 - 45分 = 7時30分$



4 金がかくの問題

(1) **A1** 情報を獲得する 再現する

- 百円玉3まいの金がかく =  $100 \times 3 = 300$  (円)
- 五十円玉3まいの金がかく =  $50 \times 3 = 150$  (円)
- 十円玉3まいの金がかく =  $10 \times 3 = 30$  (円)
- 五円玉4まいの金がかく =  $5 \times 4 = 20$  (円)
- 持っているお金はぜんぶで、 $300 + 150 + 30 + 20 = 500$  (円)

(2) **A2** 特徴的な部分に注目する

はじめのお金のまい数はぜんぶで、 $3 + 3 + 3 + 4 = 13$  (まい)  
 200円のノート1さつと80円のえんぴつを1本をあわせた金がかくは、 $200 + 80 = 280$  (円)  
 百円玉だけではらうには、280円より高い百円玉3まいの300円をつかい、おつりは、 $300 - 280 = 20$  (円)  
 いちばん少ないまい数でもらうには、十円玉2まいになります。のこりのお金のまい数は、 $13 - 3 + 2 = 12$  (まい)。

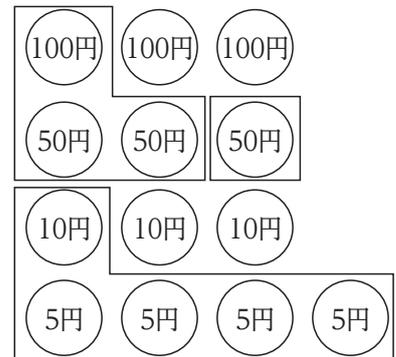
(3) **B1** 特徴的な部分に注目する 特定の状況を仮定する

のこりのお金の $500 - 280 = 220$  (円)をいちばん少ないまい数で考えると、百円玉2まいと十円玉2まいの4まい。

別解：のこるお金のまい数がいちばん少なくなるようにするためには、なるべく金がかくの小さいお金をつかいます。また、280円を200円、50円、30円とわけて考えると、

- 200円 = 百円玉1まいと五十円玉2まい
- 50円 = 五十円玉1まい
- 30円 = 十円玉1まいと五円玉4まい

のこりは、百円玉2まいと十円玉2まいの4まいとなります。



【解説】

那須正幹「それいけズッコケ三人組」から出題しました。ハチベエはどうくつに落ちていなくなってしまう。ハカセやモーちゃんたちの気持ちやハチベエの気持ちをそれぞれ読みとりましょう。

問一 A2 知識

出題された漢字は小学校二年生までに習ったものですので、おぼえておきましょう。

問二 A2 知識

Aには、からだがつつかれている様子をあらわすことばがあてはまりません。「くらくら」は「頭がくらくらする」、「こなごな」は「こなごなにくたく」というようなときに使います。Bには、かたい土の様子をあらわすことばがあてはまります。「ふわふわ」はやわらかい様子、「べたべた」はねばり気があるときに使われます。

問三 B1 具体・抽象

線部①の前に「ここまでできて、いないってことは」とモーちゃんが話していますので、「こっこち」とはモーちゃんがいる場所になります。つまり、「舟坂山の頂上」だとわかります。

問四 B1 順序立てて筋道をたどらせる 具体・抽象

(1) 線部②の場面では、ハカセとモーちゃんが話をしています。会話の前に「そうだねえ。ハチベエくん、いったいどこに行っちゃったのかなあ。」とありますが、ハチベエのことを「ハチベエくん」とよんでいいますから、ハカセだとわかります。すると、「もしかしら、いまごろ貝塚かのところにもどってるかもしれないなあ。」がモーちゃんだとわかります。ですので、「そんならいいけど、ひよっとしたら……。」はハカセだということになります。

(2) 線部②の後のハカセがハチベエのことを話している会話に注目します。すると、「それで（それで）、もしハチベエくんがもどっていないかしたら、そうなんは決定的だな。」が見つかります。ハカセはハチベエがそ

うなんしているかもしれないと思っています。しかし、この部分から十九字でぬき出すとすると、うまくぬき出せませんので、同じ内容をハカセが話している場所をさがします。すると、ハカセが陽子と由美子に話しかけている「ハチベエくんはそうなんしたかもしれないんだよ。」という会話が見つかります。そして、この会話から十九字でぬき出して答えましょう。

問五 B1 理由 具体・抽象

ハカセはハチベエが城あとにもどっていないければ、そうなんしている可能性が高いとモーちゃんに話しています。つまり、急いで城あとまでもどってハチベエがいるかどうか、たしかめたいのです。

問六 B1 理由 具体・抽象

線部④の前で、ハカセは陽子と由美子がハチベエがいなくなったことをわらいながら話していることにたいして注意しています。ですから、そんな二人にハカセはおこっているのです。

問七 B1 理由 具体・抽象 関係づけ

線部⑤の「すがりつくような目つき」から、モーちゃんがハカセに助けをもとめていることがわかります。モーちゃんはハチベエが城あとにいなかったことで、ハチベエがそうなんしたのだと思っているのでしよう。これからどうしてよいのかわからないので、ハカセに助けをもとめているのです。

問八 B1 理由 具体・抽象 関係づけ

線部⑥の直後に「ちよっとでも立ちどまったが最後、からだがいびれて動かなくなるような、そんな不安が、ハチベエを歩かせているのだ」と書かれています。ハチベエは暗やみでこわい思いや転んでけがをしながら歩いているので、気がはっているとされます。ですから、休けいをとることでがまんしていたつかがどっと出て、からだは動かなくなるのではないかと考えて休けいをとらないのだと考えられます。

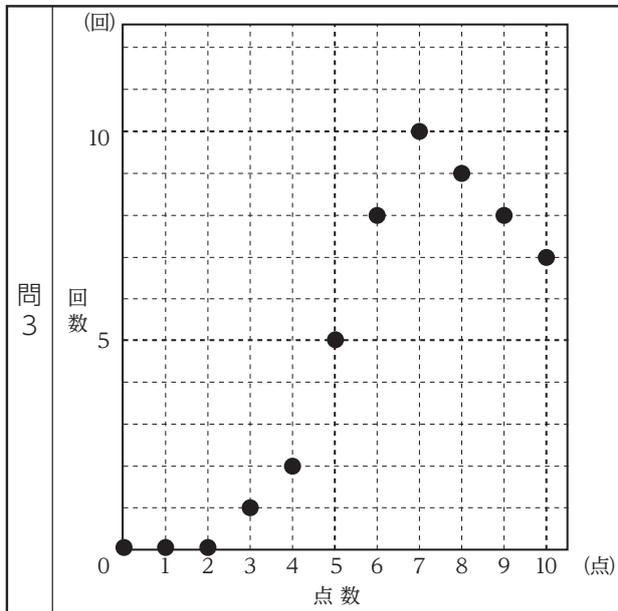
# 小学3年 思考力テスト — 解答と解説

問 1	点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	回数	0	0	0	1	2	5	8	10	9	8	7

(完答) 21

問 2	368	点
--------	-----	---

22



23

配点  
 問1～8 各6点×10=60点  
 問9ア～ウ 各4点×3=12点  
 問9エ～カ 各5点×3=15点  
 問10 13点  
 計100点

問 4	ア	1	イ	9	ウ	7	エ	8	オ	6
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(完答) 24

(完答) 25

問 5	1	時	46	分
--------	---	---	----	---

(完答) 26

問 6	(1)	1 + 2 + 3 - 4 + 5 + 6 + 78 + 9
	(2)	1 × 2 × 3 × 4 + 5 + 6 + 7 × 8 + 9

27

28

[例]

2	×	3	=	6
4	+	5	=	9
8	-	7	=	1

問 7

(完答) 29

問 9 ①	ア	九	イ	大	ウ	止
----------	---	---	---	---	---	---

31 32 33

	900mL のジュース	500mL のコップ	300mL のコップ
はじめ	900	0	0
1回目	600	0	300
2回目	600	300	0
3回目	300	300	300

問 8

(完答) 30

問 9 ②	エ	三	土(工)	オ	二	十	カ	六	父
----------	---	---	------	---	---	---	---	---	---

(完答) 34 (完答) 35 (完答) 36

[例]

問 10

いままでよりも、よく手洗いとうがいをするようになったので、この1年は、1回もかぜをひいていません。また、おとうさんやおかあさんが、家でしごとをするようになったので、みんなで食事をしたり話をする時間がふえたのがよかったです。体をじょうぶにした方がいいので、たくさんやさいを食べるようになりました。

37

【解説】

問1 A2 情報を獲得する 再現する

見おとしがないように正確せいかくに点数を数えます。

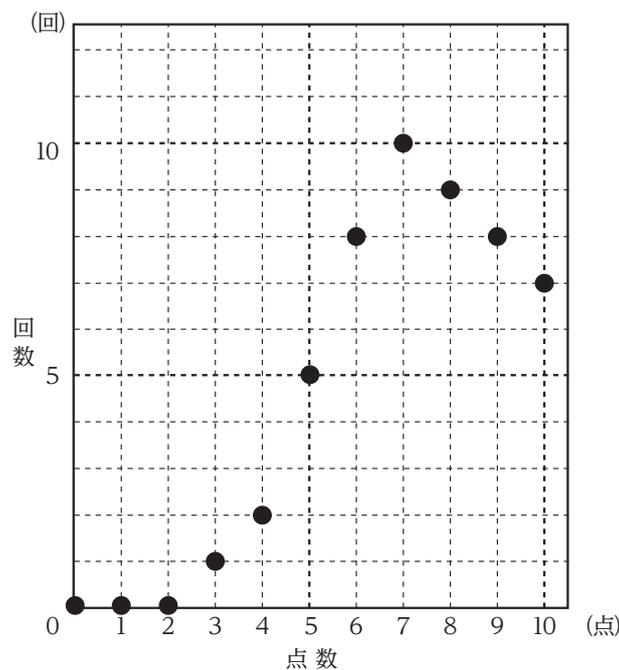
点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
回数	0	0	0	1	2	5	8	10	9	8	7

問2 A1 情報を獲得する 再現する 順序立てて筋道をとらえる

$$3 \times 1 + 4 \times 2 + 5 \times 5 + 6 \times 8 + 7 \times 10 + 8 \times 9 + 9 \times 8 + 10 \times 7 = 368 \text{ (点)}$$

問3 A2 情報を獲得する 再現する 順序立てて筋道をとらえる

問1の表から正確せいかくに点をかいていきます。



問4 B1 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる 特徴的な部分に注目する 調べる

たし算のひっ算は、2けたと2けたのたし算でくり上がっているのでア=1になり、ウ+5の一の位くわいが2なのでウ=7です。7+5=12だから1くり上がって1+5+イの一の位くわいが5だから、イ=9になります。つまり、57+95=152の計算をしています。よって、ア=1、イ=9、ウ=7

ひき算のひっ算は、一の位くわいを考えると、(オ、エ) → (8, 4) (6, 3) (4, 2) (2, 1) が考えられますが、48-84, 36-63, 24-42, 12-21となりひくことができません。つまり、ひけないのでくり下がりてひき算をしたことがわかります。十の位くわいの答えが1だから、エ-オ=2になります(エはくり下がりて1へるため)。すると、(エ、オ) → (9, 7) (8, 6) (7, 5) (6, 4) (5, 3) (4, 2) (3, 1) この中で、くり下がりての計算で、1オ-エ=エになる数は、(8, 6) の16-8=8しかありません。よって、エ=8、オ=6

**問5** **A2** **情報を獲得する** **再現する**

時計より、時こくは2時40分で、この時こくの54分前です。

よって、 $2時40分 - 54分 = 1時100分 - 54分 = 1時46分$

**問6** **B2** **情報を獲得する** **順序立てて筋道をとらえる** **特定の状況を仮定する**

(1) すべてたし算として「+」で計算してみます。

$1+2+3+4+5+6+7+8+9=108$ になるので、 $108-100=8$ 多いことがわかります。

$8 \div 2 = 4$ より、4をたすのをやめると $108-4=104$ となるので、4をひき算にすればよいことがわかります。

よって、 $1+2+3-4+5+6+7+8+9=100$

(2) まず、 $8 \times 9 = 72$ にすると、のこりは $100-72=28=1+2+3+4+5+6+7$ となり、式は正しくなりますが、「+」も「×」も4つずつなので条件に合いません。

$7 \times 8 = 56$ としたとき、 $5 \times 6 = 30$ だと、 $5 \times 6 + 7 \times 8 + 9 = 95$ だから、のこりの1、2、3、4では100はつくれません。 $4 \times 5 = 20$ だと、 $4 \times 5 + 6 + 7 \times 8 + 9 = 91$ だから、のこりの1、2、3では100はつくれません。 $3 \times 4 = 12$ だと、 $3 \times 4 + 5 + 6 + 7 \times 8 + 9 = 88$ だから、のこりの $1 \times 2$ を $3 \times 4$ にかけて、 $1 \times 2 \times 3 \times 4$ にすれば、ちょうど100になることがわかります。

よって、 $1 \times 2 \times 3 \times 4 + 5 + 6 + 7 \times 8 + 9 = 100$

**問7** **B2** **調べる** **特徴的な部分に注目する** **特定の状況を仮定する**

この問題はこまめに調べていくしかありませんが、片方が1のかけ算は $1 \times 2 = 2$ 、 $1 \times 3 = 3$ 、…、 $1 \times 9 = 9$ となり、同じ数は使えないのでできません。また、すべて1けたの数なので、かけ算の式は答えが1けたになる $2 \times 3$ 、 $2 \times 4$ の2とおりしかありません。

また、たし算も同じように考えると、2はかけ算でかならず使うので、 $1+3$ 、 $1+4$ 、…、 $1+8$ 、 $3+4$ 、 $3+5$ 、 $3+6$ 、 $4+5$ の中からさがします。

・ かけ算の式が $2 \times 3 = 6$ の場合

のこりは1、4、5、7、8、9

たし算の答えが9だとすると、 $9 = 1 + 8 = 4 + 5$

$9 = 1 + 8$ のとき、のこりの4、5、7でひき算の式はつくれません。

$9 = 4 + 5$ のとき、のこりの1、7、8で $8 - 7 = 1$ 、 $8 - 1 = 7$ がつけれます。

たし算の答えが8だとすると、 $8 = 1 + 7$ で、のこりで $9 - 5 = 4$ 、 $9 - 4 = 5$ がつけれます。

たし算の答えが7の式はつくれません。たし算の答えが5や4ではのこりの数でひき算がつけれません。

・ かけ算の式が $2 \times 4 = 8$ の場合

のこりは1、3、5、6、7、9

たし算の答えが6、7、9の場合は、ひき算がつけれません。

また、答えが5になるたし算の式はつけれません。

よって3つの式は、 $2 \times 3 = 6$ 、 $4 + 5 = 9$ 、 $8 - 7 = 1$ か $8 - 1 = 7$

または、 $2 \times 3 = 6$ 、 $1 + 7 = 8$ 、 $9 - 5 = 4$ か $9 - 4 = 5$ になります。

ただし、かけ算とたし算は $2 \times 3$ と $3 \times 2$ のように左右が入れかわっていても正しいです。

**問8** **B2** 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる

300mLをつくるには、300mLのコップにうつしかえます。1回目に300mLのコップに入れると $900 - 300 = 600$  (mL) がペットボトルにのこります。2回目は、できた300mLを500mLのコップにうつしかえます。そして、3回目は、ペットボトルから300mLのコップに入れると $600 - 300 = 300$  (mL) がペットボトルにのこるので、これで3つの300mLができます。

	900mL のジュース	500mL のコップ	300mL のコップ
はじめ	900	0	0
1回目	600	0	300
2回目	600	300	0
3回目	300	300	300

**問9** **B1** 情報を獲得する 知識 特定の状況を仮定する

① [1つとる漢字]：アの丸は点をとって「九」、イの天はよこをとって「大」、ウの正はよこ線をとって「止」になります。

② [2つとる漢字]：エの玉はたて線と点をとって「三」、よこ線と点をとれば「土」と「工」、オの牛はななめ線とたて線をとって「二」、ななめ線とよこ線をとれば「十」、カの交は下の2つのななめ線をとって「六」、小さいたて線とよこ線をとれば「父」になります。

**問10** **C1** 理由 推論 具体・抽象

新がたコロナウィルスによって生活は大きくかわり、たいへんなことがふえましたが、そんな中でも、よくなったことや前向きに考えればこれでよかったと思えることを記述する問題です。たとえば、手あらいとうがいをしっかりするようになったことで、かぜをひかなくなったという人がいることが考えられます。また、家族が家ですごす時間がふえたことで、家族と話をすることが多くなったという人もいるでしょう。コロナウィルスがきっかけでよくなったとみなさんが感じたことを、ほかの人につたわるようにせつめいしてみましょう。この問題では、①いぜんとくらべてよくなったことが書かれているか、②①に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないか、③表現や表記に誤りがないか、④4行以上で書かれているかどうかを中心に見ています。(ただし、理由が4行書かれていない解答は、すべて採点対象としません。)